

**製品名: リン酸化 mTOR (S2481) (4Y3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe05951**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:100,IF-P 1:20-1:50
分子量	289kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MTOR
別名	FRAP; FRAP1; FRAP2; RAFT1; Rapamycin target protein; kinase mTOR;
遺伝子 ID	2475.0
SwissProt ID	P42345
免疫原	ヒト mTOR の Ser2448 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

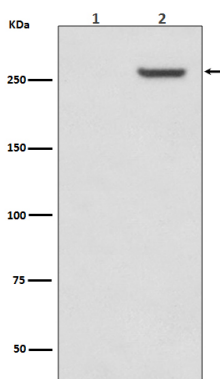
**背景**

PIKKファミリーに属する非定型キナーゼ。タンパク質合成の制御を介して細胞増殖を制御する。PI3K/Akt経路の下流に位置し、細胞の生存に必須である。FKBP12-ラパマイシン複合体による細胞周期停止および免疫抑制効果の標的として作用する。セリン/スレオニンプロテインキナーゼは、ホルモン、成長因子、栄養素、エネルギー、ストレスシグナルに応答して、細胞の代謝、増殖、生存を調節する中心的な役割を担う。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



(1)LP処理した293細胞溶解物、(2)293細胞溶解物中のPhospho-mTOR (S2481)発現のウエスタンブロット解析。